

令和5年度 岐阜市立看護専門学校 第三者評価

1 実施方法

令和6年1月26日に岐阜市立看護専門学校の第三者評価委員に対し、看護教育自己評価指針にある9カテゴリー126の評価項目について、自己点検・自己評価した結果の概評をまとめた評価資料の内容および評価方法の説明を行いました。その後、各委員にカテゴリー毎に4件法での評価と、その理由ならびに提言を記入して頂きました。

2 第三者評価委員

岐阜市民病院 外科系診療局部長
 岐阜市民病院 内科系診療局部長
 岐阜市民病院 事務局長
 岐阜市民病院 看護局長

3 実施結果

カテゴリー	点数
I・II 教育理念・目的・目標	3.75
III 教育課程経営	4.00
IV 教授・学習・評価	4.00
V 経営・管理過程	3.75
VI 入学	3.75
VII 卒業・就職・進学	4.00
VIII 地域社会／国際交流	3.75
IX 研究	3.00

<評価基準>

「とてもそう思う」(4点)

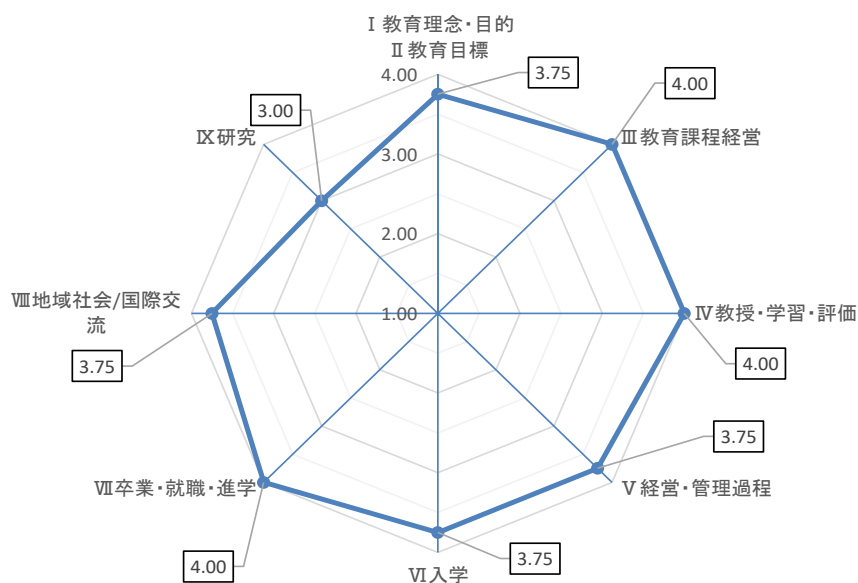
「どちらかといえばそう思う」(3点)

「どちらかといえばそう思わない」(2点)

「全く思わない」(1点)

4件法で評価し、カテゴリー毎に平均点を求めました。

令和5年度 第三者による学校運営評価結果 n=4



評価項目	評価理由ならびに提言
I・II 教育理念・ 目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的ルーブリックの運用評価など教育・学生支援における課題抽出や教育検討委員会への問題提起など、課題解決及び改善の取り組みがなされている。 ・学生が自己の目指す姿、学生ビジョン（なりたい看護師像）を明確にしながらか己成長を促す教育目標は、主体性を育み卒業後のキャリア開発にもつながる育成であり、評価できる。 ・学生が自ら成長できる指標があることは良いと感じる。 ・運用評価とともにアップデートしていけると良いと思う。 ・ディプロマポリシーを掲げることで課程の修了要件や看護師育成のための必要な技能などが明確に示されていて実際にそれに基づいた教育がなされていると思う。
III. 教育課程経営	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの運用にあたり年度ごとに見直しを行い次年度の改善につなげるなど、学習の質を維持するための取り組みがなされている。 ・授業参観事業への取り組みを行い、常に教育のあり方や改善に努め、質の向上に努力されている。 ・教育課程を理念・目的の達成に向けて改善し、職員で体制を整えられている。 ・教育課程（カリキュラム）は妥当と思われる、教員の教育力向上に向けた取り組みは評価できると思う。
IV. 教授・学習・ 評価	<ul style="list-style-type: none"> ・実習補助教員の増員など、学生の実習が進化、発展するための方法を選択し、学習を支援している。 ・シミュレーション教育を取り入れたことでの学習効果や臨地実習への効果など、その成果を期待したい。 ・教育の達成目標を設定し、運用できている。 ・コロナ禍において、欠席を余儀なくされる学生への対応ができています。 ・長期的ルーブリック、カリキュラムツリー等により、教育内容、教育の計画性について明記されていて、それに基づいた実践・評価がされている。
V. 経営・管理過程	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の安全な避難及びセキュリティ対策強化のための玄関ドアの改修やICT教育の充実に向けたiPadの拡充及びマニュアル作成など、必要な環境整備が行われている。 ・多方面から教育評価が実施されており、健全に運営されている。 ・教育環境を整えるための工夫が実施されている。 ・限りある資源を整理して有効に教育を行うシステムが構築されている。 ・学校の財政基盤は弱いと思うが、その中での取り組みは素晴らしいと思う。
VI. 入学	<ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問や見学会、進学ガイダンスへの参加など、入学生の確保に向け積極的に取り組み、推薦入試の受験者が増加するなど成果を上げている。 ・受験者が増えていることは、入学希望者開拓への取り組みの成果として高い評価ができる。 ・看護師養成所として、学生に進路として選択してもらえるように活動している。 ・入学者選抜に関する取り組みは運営会議で詳細に報告がされており、現状の路線が良いと思う。
VII. 卒業・就職・ 進学	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験合格率及び卒業生の県内就職率ともに高い水準を維持しており、教育理念・目標に合致した地域に貢献できる人材を輩出している。 ・適切に評価されている。 ・分析を授業などにつなげて教育がされているとともに、卒業後の評価を活かした支援を検討している。 ・国家試験合格率は高く、しっかりと進路選択ができています。 ・卒業生の進路、卒業生の就業後の活動状況について詳細に報告されている。

VIII. 地域社会/ 国際交流	<ul style="list-style-type: none"> • 新カリキュラムで求められている「地域に根差した学校づくり」を実現するため、地域の包括支援センターや公民館等と連携して取り組みを行う教育環境が整備されている。 • 新カリキュラムに添い、地域に貢献できる人材教育の視点を軸に授業が組み立てられている。 • 地域との交流は良くできている。交流は難しい面もあるため、今後も努力してほしい。 • 地域に根差した学校づくりがなされていると思う。継続してもらいたい。
IX. 研究	<ul style="list-style-type: none"> • 教職員の確保に努めるとともに DX の推進など働き方改革を進めることで、研究活動の時間を確保できるよう努めたい。 • 教育の発展のために研究活動に努力されている。 • 教育に多忙な中、教員の質の向上に努められている。 • 学生指導、新カリキュラムへの対応など時間に追われ多忙だと思うが、可能な範囲で研究活動をされるともっとレベルアップした学校になると思います。

上記の通り、9 カテゴリー全てにおいて、平均点が3点（どちらかといえばそう思う）以上の評価結果でした。又、これら評価結果の根拠は、継続的に自己点検・自己評価を行い、カテゴリー毎に抽出された課題に取り組み、長期的ループリックを軸とした教育を展開してきたこととなっていました。

4 今後の課題

第三者評価の全カテゴリーの評価理由ならびに提言に基づき検討した今後の課題は以下の通りです。

<ol style="list-style-type: none"> ① 長期的ループリックの運用を継続し、分析した評価結果を教育・学生支援に反映していきます。 ② 教育の質向上に向けた教員の学内・学外での取り組みや、授業評価の結果分析と次への反映を継続します。 ③ ICT 活用の充実を図り、その効果の検証を行っていきます。 ④ 計画的な予算計上のもと、教育環境の整備を行っていきます。 ⑤ 入学者確保に向けた、様々な方法による広報活動を継続します。 ⑥ 入学者選抜方法の分析を継続します。 ⑦ 卒業後の動向を視野に入れた進路支援をしていきます。 ⑧ 地域に根ざした学校づくりのための交流やボランティア活動の支援を継続します。 ⑨ 看護研究時間の確保に向け、人員の確保や業務整理を行っていきます。
--